



# ずっと住み続けられる街へ ～ナイト・マーケーション・プレイス～

都市空間研究室チーム (同志社女子大学)  
青柳凜・新井美空・平林里和子

## フィールドワーク・ヒアリング からわかったきたまちの実態

- 人の温かさを活かしたい
- 暮らしやすい街を活かしたい
- △若い世代の街への関心の低さ
- △地域活動の高齢化
- △地域行事の担い手不足

大門市場の消失 (2010年1月)  
→買い物の場だけでなく、住民同士  
やお店の方とのコミュニケーション  
の場も失うことに・・・

## 提案・コンセプト

### ナイトマーケーションプレイス

#### マーケット

- ・元々まちにあるものを生かす
- ・まちを知るきっかけづくり
- ・ワクワクする場所に

#### コミュニケーション

- ・参加してまちをつくる
- ・地域住民と若い世代を繋ぐ
- ・きたまちに暮らしの軸をおく

×

## 実施内容

開催場所：東向北商店街&花芝商店街



きたまちでは夜に営業する店が少なく、商店街周辺に集中。

提供するもの：  
飲食物や雑貨・  
フリースペースでの地域交流

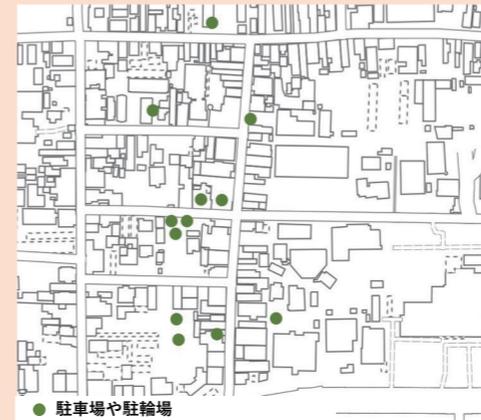


若い世代も巻き込んだ交流の場  
働く世代がまちを知る機会を作り、  
まちに賑わいをもたらす

開催時間：金曜日の夜17時～20時30分  
→帰宅ラッシュのサラリーマンや授業後の学生を取り込む

開催頻度：年4回 (4月・7月・11月・1月)  
→学生の長期休みや帰省に被らない機関で参加しやすく

## フリースペースから広がる交流の輪



フリースペースは、商店街の空き店舗  
や商店街周辺に多くある駐車場を活用  
→商店街の入り口に集中しがちな賑わ  
いを商店街全体へ

仲間をつくる  
フードスペース

テイクアウトしたものを飲  
食しながら。新しい顔見知  
りや仲間を作る。



まちを知るワー  
クショップスペース

町内会や自治会による地域行事を伝え、  
セミナーや体験会を開催。  
例) 地蔵盆の前掛け作りワークショップ

机や壁には...

きたまちのイベント・行事のコラムを  
掲載  
→会話のきっかけ、きたまちの話をして  
もらえる環境づくり

## マーケーションプレイスの開催によって

before



after



- ☑ 交流の場の復活
- ☑ 新しいコミュニティとの出会い
- ☑ 若い世代へ地域文化の伝承
- ☑ まちへの愛着が深まる

住み続けられる  
豊かで活気あるまちへ